

流木工房

2016年9月18日

高橋義廣 著

10数年から、清水高原の別荘を購入しそれから定住しています。「〇〇工務店」には、定休日以外は毎日通っています。

工務店の仕事は、さまざまな外部作業がほとんどで、たまたま「ダムの仕事」で高瀬川に行った折り、ダム湖に流れてきて、岸に打ち上げられている形のおもしろい木を見つけたのがきっかけとなり、そのような仕事の時の合間に、ダム湖に流れてくる上流の川を散策しては、気に入った余り大きくない「流木」をこつこつと集めて、もう10年以上にもなります。

100点近くになる「流木」を、形を見



まだまだ沢山の「流木」があちこちに置かれています。時間が経てばさらに増えていく「流木工房」に乾杯。

ながら、好きな所になにげなく置いていくうちに別荘のあちこちに配置され「流木工房」になりました。

「流木」は山小屋風建物に非常に良くマッチングしており、どの場所でもバランスが良く置く事ができ満足しています。

写真は、玄関先左側に置かれた「流木」です。その下の写真は、玄関先手前にある池に配置をした「流木」です。いずれも1m前後のもので木のカーブが楽しい。

家の中央には、吹き抜けの居間があり、買った当時に、自分で薪ストーブ設置ための床と壁を改修しました。薪ストーブと煙突を設置して更に「流木」をなにげなく置いてみました。写真はありませんが、想像して見て下さい。

居間から出られるところにベランダを作っています。一期工事・二期工事と徐々に出来上がってきました。ベランダにテーブルを置きパラソルを立てて、その上とベランダの周りに塀に「流木」を置いて見ました。

